

# 安全宣言

我が国の労働災害による死者数は、年々減少してきたが、平成二十一年から大幅な増減を繰り返している。一方、労働災害による休業四日以上死傷者数は、平成二十二年から三年連続の増加となり、極めて憂慮すべき事態となっている。

宮崎県内においては、平成二十四年の労働災害による死者数が前年比三人増の十一人で、休業四日以上死傷者数は前年比五十二人減の千三百人と減少したが、本年においては、既に八人（六月末現在）の方が労働災害により死亡しており、憂慮すべき状況にある。

わが佐土原地区安全衛生協議会においては、この度、設立後三十年間の安全衛生活動の取り組みが評価され、厚生労働大臣団体賞を受賞した。しかしながら、会員各位が決して油断することがあってはならない。これまでの三十年に亘る活動で構築した当協議会の安全文化を更に発展させていかなければならない。

労働災害を防止するためには、トップから安全衛生の担当者、労働者までの事業場全員が現場を確認し、機械設備の安全基準や作業手順などの基本ルールを守ることに加え、事業者から労働者一人ひとりまでの安全に対する意識や危険感受性を高めることにより、労働者の安全を確保し、労働災害ゼロを目指していく必要がある。

よって、我々は、本日の安全大会を契機に心を新たにし、

## 「高めよう 一人ひとりの安全意識 みんなの力でゼロ災害」

をスローガンに職場における安全衛生管理を一層向上させることに全力を尽くすことを誓う。

右、宣言する。

平成二十五年七月十二日

宮崎県佐土原地区安全衛生協議会